

麻績村の教育方針に関する研究検討委員会「第3回社会教育部会」議事録

日時 平成29年10月26日(水) 午後7:00～

場所 麻績村地域交流センター 2F 第3,4研修室

参加者

- ・社会教育委員兼公民館運営審議委員会委員長 湯地監興 委員
- ・社会教育委員兼公民館運営審議委員会副委員長 内山修治 委員
- ・文化財保護委員会会長 飯森忠幸 委員
- ・文化財保護委員会副会長 宮澤 強 委員
- ・体育協会理事長(教育長) 飯森 力 委員
- ・スポーツ推進委員 柳原直穂美 委員
- ・スポーツ推進委員 清水 深 委員
- ・公民館サポート委員 宮下 朗 委員
- ・公民館サポート委員 小松小百合 委員
- ・おみ図書館職員代表 新海知子 委員
- ・公民館長 塚原明水 委員
- ・公民館主事 飯森誠一 委員 (事務局)
- ・公民館体育主事 塩家正和 委員 (事務局)

事務局：皆様こんばんは。本日はお忙しい中お集まりいただきまして、誠にありがとうございます。定刻でございますので始めさせていただきます。最初に部会長挨拶をお願いします。

部会長：皆さんこんばんは。一日のお仕事終わりのお疲れのところ、又夜のお忙しい時間に第3回社会教育部会にご出席いただきまして誠にありがとうございます。本日の会議事項としましては次第の通りでございますが、皆様から多くのご意見をいただきながら進めていきたいと思っておりますのでよろしくお願いたします。

事務局：それでは協議事項に入らせていただきます。進行は部会長お願いいたします。

部会長：協議事項の一つ目、会議録の確認について事務局お願いいたします。

事務局：書記からご説明させていただきます。先週に皆様のお手元に議事録を送付をさせていただきました。内容につきましてご発言等確認をしていただきたいと思います。もし修正点等がありましたらこの場でお願いしたいと思います。特段この場では無い様ですが、修正がある場合は今週末の10月末までに事務局までご連絡いただければと思います。また公開する内容についてですが、発言者は教育長、部会長、委員、事務局の4つで構成されるように修正して公開させていただきます。

部会長：インターネットにも公開がされておりますので、そちらについてもご覧いただき、修正などございましたら、事務局までご連絡いただきたいと思います。

委員：すでに第一回が公開されているということですね？

事務局：そうです。

部会長：それでは会議録につきましては以上といたします。続いて部会の検討の進め方について事務局からお願いいたします。

事務局：前回の会議の中で様々な検討方法についてご協議をいただきました。計画に沿って進めてはどうだ、検討研究委員会の概要に沿って進めてはどうだ、重要課題を決めてからそれについて深く検討していけばどうだ、課題については網羅的に見ていく必要があるのかなどご意見をいただきました。また本日の会議でその結論についてまとめをして、今後の検討方法を決めるという話になっていたところですが、しかしながら話し合いで方法を決めるとなると、方向性が中々まとまらないと思われましたので、事前に正副部会長と事務局で打合せをさせていただきました。今からお話しする方法は決して結論ということではなく事務局からの提案という形でお聞きいただければと思います。社会教育については広範囲であることはすでにご理解いただいていると思われ、それぞれご担当されている分野が違うということで、中々ほかの分野については分からないというご意見は前回の会議でも話が出ておりました。この範囲の広い社会教育を網羅的に見ていくとした場合、非常に時間がかかることが予想され、現実的ではないと判断いたしました。つまり限られた時間の中で何かしらの結論にたどり着くためには焦点を絞って検討を進める方法を提案させていただきたいと思っております。また検討する内容についてですが、次第の(3)の課題の確認という部分にもつながりますが、お手元の資料にある課題リストがございます。こちらについては事前に皆様からお寄せいただいた課題をまとめさせていただいたものです。それぞれ分野から提出された課題になりますので、これを一つ一つ検討していけば良いと思っております。ただしこれを並列に並べて一覧としてみたときに、一体この中のどの課題が最重要課題なのかということを決めるのはこれもまた時間のかかる議論になってしまうと思っております。そこで分野ごとに小部会を実施して再度課題の掘り起こしと重要課題の洗い出しをしたいと考えております。4つの分野がございますので計4回の小部会を実施したあとに、正副部会長と事務局で検討していく優先順位を決定した上で皆さんにご提示させていただきたいと考えておりますがどうでしょうか。11月については社会教育部会は実施せずに小部会を4回実施して12月の部会で報告させていただきたいと思っております。また検討する内容の整理をさせていただきたいと思っております。この部会では最終的に問題解決するところまで実施する必要はないと思っております。文化財を例にお話しさせていただきますが、文化財のガイドがないという課題が出ておりますが、とてもこの部会でガイドの養成まですることはできませんので、方法論として又はアイデアとしてこの課題については、こう

いう方向性で進めていけばいいとか、この内容で事業を実施したらどうだというような提案をすることが求められていることだと思っております。私たちの使命としてはこの後2、3年の話ではなくて10年後位を考えたときに今はじめないと無くなってしまうような大切なことやものがあると思いますので、そういったことをつなげていくために提案書というような形で今後の道筋をつけることだと思っております。その提案が研究検討委員会の本会に提出され、承認なりお認めいただければ、今度はその内容が行政側に降りてきて、担当の事業課で予算化や事業化につながっていくこととなります。そういった協議を重ねて課題リストに課題がなくなれば、この部会は休会なり、解散なりといった形になるのではないかと考えております。いかがでしょうか。

部会長：只今事務局から提案がありましたが、いかがでしょうか。ご意見ありましたらよろしく願いいたします。

委員：：11月中に小部会を開催するというのですが、内容としてどこまで検討するのか、教えていただきたいです。あくまで課題の掘り起こしということでのよろしいでしょうか。

事務局：基本的には課題の掘り起こしをメインでやっていきたいと思いますが、会議の規模が小さくなることでぎくばらんな発言ができるようになると思っておりますので、課題に対しての提案などがその時に出ればそれもまとめて反映していきたいと思っております。また課題の優先順位などはつけて話を進めたいと思っております。

委員：わかりました。

委員：前回の会議でも話に出ましたが、検討する範囲が広範囲のため概要などに沿って全体を検討することも大切だとは思いますが、それよりも本当に解決すべき課題を掘り下げて形にしていけるほうが良いと思っております。良い方法を提案していただいたと思っております。

委員：私としては大変すっきりした気がいたします。限られた時間の中でいくつかのポイントに絞られることになるとは思いますが、網羅的に見ていくというよりもある程度絞られた課題についてこの部会でこれだけの答えが出せましたということ期限付きの中で生み出していくにはこの方法は良い方法だと思いたしました。

事務局：三点お願いいたします。ここにお集まりの皆さんは、それぞれの委員会なり職場で専門的にやられている方が集まっております。やはり自分の分野以外の事は分らないので無責任に意見できないと思われる方もいらっしゃると思っておりますけれども、せつかくここに社会教育部会の委員ということで集まっておりますので、自分の思っていることや気づいたことなど分野の垣根を越えて自由に発言していただきたいと思っております。そういったぎくばらんな検討が今後につながっていくと思っております。2点目ですが今後検討課題が決まってきたときに、それを検討するために必要な資料などがありましたら事務局までいただければコピー

一などして、全員に共有できるようにしていきますので、お願いいたします。3点目ですが、文化財の課題に文化財マップの作成と麻績村の文化財の編纂等がございますが、この2点についてはすぐに着手して進めるということが結論だと思います。具体的な内容をどうするか編纂委員をだれにするというような内容は次のステップになろうかと思っておりますので、この2点については早急に着手していくということで事務局は認知しておりますので、皆さんも同様のご理解をいただければと思います。

委員：進め方としては非常に良い提案だと思います。前回の会議では今後どうしていくのか不透明な部分が多かったのですが、重要課題に焦点を絞って検討を進めていくことで進み方も早くなると思いますので良いと思います。

部会長：それでは小部会を4回実施して課題の掘り起こしを行ったうえで、優先順位を正副部会長と事務局でつけてから皆さんにご提示をして検討を進めるということによろしいでしょうか。

事務局：一応公民館関係、社会体育関係、文化財関係、図書館・その他関係の4本の柱で分野を分けて、まずは分野ごとの優先順位、次に課題の優先順位をつける形で進めたいと思います。例えば文化財が一番優先度が高くなれば文化財関係の課題を優先度順にすべて検討してから次の分野の図書館関係に進むというような形で考えております。課題が速くまとまれば事前にお配りして次回すぐに検討を始められるようにしたいと思います。

部会長：それでは事務局から提案のあったかたちで進めるということによろしいでしょうか。

全員：全員了承。

部会長：ありがとうございました。それではこの方法で進めたいと思います。それでは続いて小部会の日程と、次回の日程を決定したいと思います。

事務局：それでは次回の日程は

公民館関係	11月9日(木)	19:00～
文化財関係	11月15日(水)	16:00～
社会体育関係	11月20日(月)	19:00～
図書館関係	11月24日(金)	19:00～
次回日程	12月11日(月)	19:00～

部会長：ありがとうございました。他に何かございますか。無いようですのでこれで会議を閉じます。長時間ありがとうございました。